

福祉社会研究会会則

第1条 本会は、京都府立大学福祉社会学部福祉社会研究会と称する。

第2条 本会は、会員相互の研究の便宜をはかるとともに、福祉社会に関する研究の促進普及発展に貢献することを目的とする。

第3条 本会の事務局は、京都府立大学福祉社会学部内に置く。

第4条 本会は、次の事業を行う。

- 1 会誌（『福祉社会研究』）等の発行
- 2 例会（福祉社会フォーラム）等の開催
- 3 その他本会が適当と認めた事業

第5条 本会は、次の会員をもって組織する。

- 1 正会員 京都府立大学福祉社会学部の専任教員
- 2 学生会員 京都府立大学福祉社会学部学生および大学院福祉社会学研究科学
生

2 会員は、会誌の頒布を受け、本会の行う事業に参加することができる。

3 会員は、総会が定める会費を納入する。

4 会員は、総会に出席し、自由に発言し決議に加わることができる。

第6条 会員の入会及び退会の手続きについては、理事会の定めるところとする。

第7条 本会の趣旨に賛同し理事会が適当と認めた者は、賛助会員となり会誌の頒布を受け
ることができる。賛助会員の会費は、総会において定める。

第8条 本会に代表1名、監事2名、理事3名、及び委員若干名を置く。

2 代表は総会で選出され、本会を代表し、会務を統轄し、総会、理事会を召集する。

3 監事は理事会がこれを選出し、会計監査を行う。

4 理事は総会においてこれを選出し、代表とともに理事会を構成し会務を処理する。

5 理事は編集担当・庶務担当・会計担当の職務を遂行する。

6 委員は代表により嘱託され、編集担当理事・庶務担当理事・会計担当理事のもと実
務を分掌する。

第9条 本会の最高決議機関は総会である。

2 総会は毎年1回開催する。

3 総会の決議は出席者の過半数の賛成を必要とする。

4 会員が要求し、理事会が必要と認めた時は、臨時総会を開くことができる。

5 総会の開催は、少なくとも1週間以上前に会員に公示しなければならない。

6 総会の議決事項は、予算、決算、活動方針の承認、代表および理事の選出その他と
する。

第10条 本会の経費は、会費、事業収入、寄付金、その他の収入等をもってこれにあてる。

第11条 本会則の改正は、総会の決議によるものとする。

附則 この会則は、2000年2月17日より発効する。

附則 この会則は、2001年7月12日より発効する。